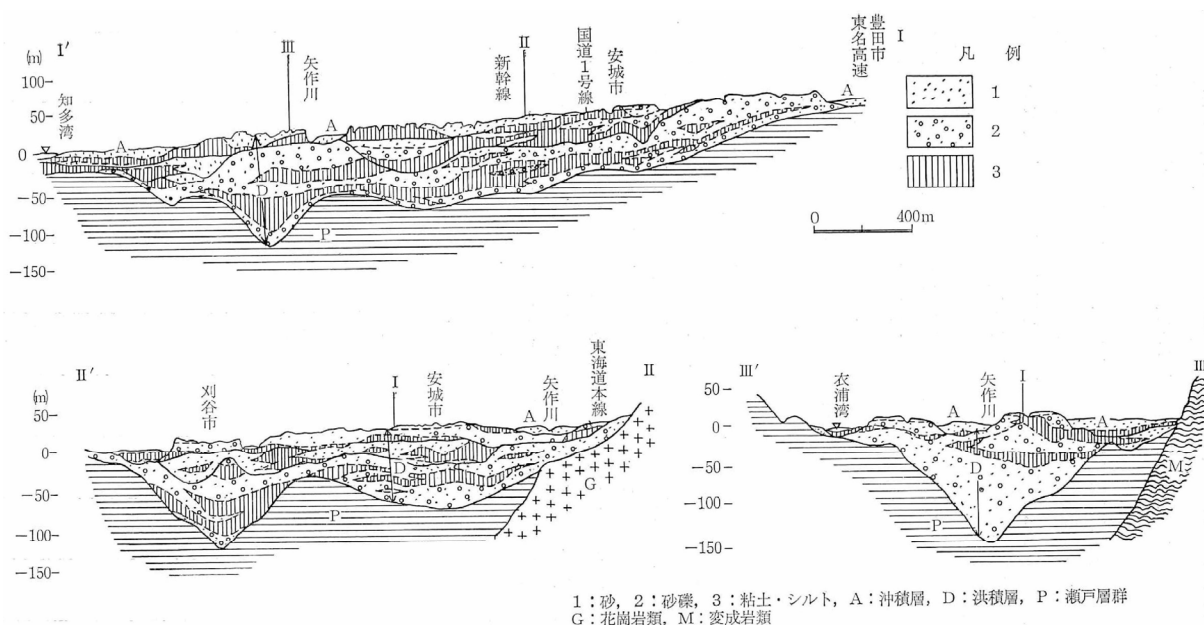


地形・地質

岡崎平野は、東側を領家帯の花崗岩類や変成岩類からなる山地に境され、西側を鮮新世の瀬戸層群からなる丘陵地に囲まれています。岡崎平野は広大な台地と、矢作川や境川など河川沿いの谷底低地、臨海部の干拓地からなります。

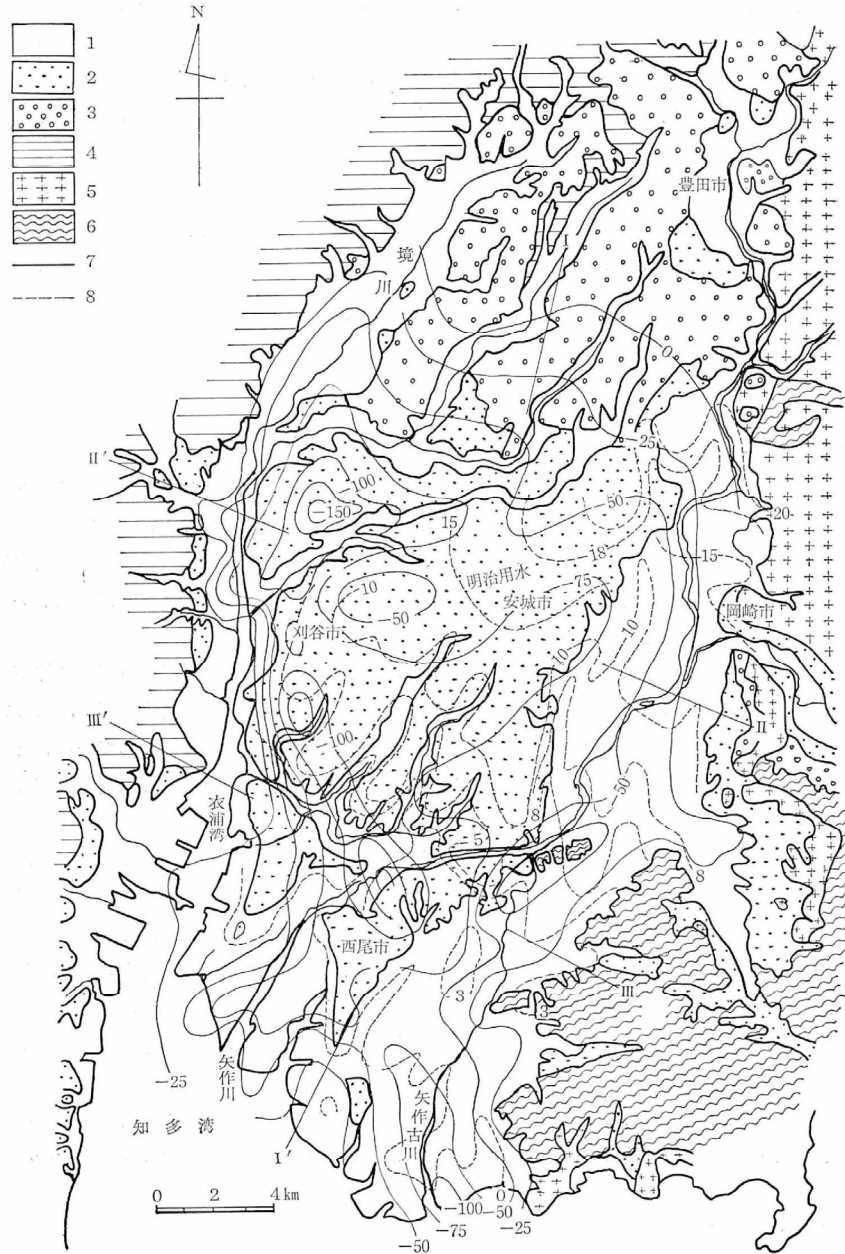


岡崎平野の模式断面図

地下水

本地域の帯水層は、鮮新世瀬戸層群(主に矢田川累層)、洪積層および沖積層です。

特に、洪積層は被圧あるいは不圧地下水の帯水層として、きわめて良好です。



1:沖積層 2:中位段丘堆積物 3:高位段丘堆積物 4:瀬戸層群 5:花崗岩類
6:変成岩類 7:洪積層基底等高線 8:地下水等高線(1967. 10測定)

岡崎平野の水文地質図

出典 日本の地下水(農業用地下水研究グループ,1986)(一部加筆)

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記のWebページで閲覧できます。

<http://www.jagh.jp/jp/g/activities/committee/research/gwdb.html> (日本地下水学会)